

普及啓発講習会
「ここまで分かってきた、
森林と放射能の関係—総合的理解のために」
受講生募集要項

1 目的

森林における放射性物質の動きについては、これまで国や研究機関等の調査・研究により明らかになってきており、また、福島森林・林業の再生に向けた取組も進められています。森林・木材産業等での風評被害を払拭するとともに、停滞している林業活動の再開を通じた住民の雇用、生活の場を確保していくためには、森林における放射能に関する基礎知識や正確な情報を習得することが重要です。

このため、地域において機関・団体等の指導・支援・監督の立場にある方々を対象に、放射能の基礎知識をはじめ森林における放射能の状況や林業再生に向けた取組について、総合的理解に向けた講義を行い、正確な情報を習得していただくとともに、皆様の様々な疑問に答えるため本講習会を開催するものです。

2 対象

森林内での活動を行う者を指導・支援・監督する立場にある行政機関担当者
林業団体役員、林業事業体役員、林業・木材産業関連企業役員、
野外活動団体等（避難指示解除準備区域）の指導者層（避難指示解除準備区域）

3 定員及び受講料

1回30～40名程度、無料

4 カリキュラム、方針（詳細カリキュラムは別紙1参照）

森林・木材の放射能汚染に関して、現在までに解明されている情報を基にした講義（座学）を基調とします。講師資料と本事業で作成したテキスト（約120頁、目次は別紙2参照）を配付します。各講義の後には、講師である専門家と受講生との質疑・応答、ディスカッションの時間を長めに設け、できる限り、受講生の疑問に答える形式とします。

このため、受講生からは講習会参加前、事前質問を受け付け、それらを集約したものを中心に、質疑・応答等の時間を構成する予定です(その場での質問も受け付けます)。
なお、講習会は二回開催しますが、カリキュラム内容は同じになります。

5 開催場所及び日程等

講習会① 日時：平成 27 年 1 月 24 日（土） 13:00～17:00

場所：福島県南相馬市 市民文化会館「ゆめはっと」 多目的ホール

講習会② 日時：平成 27 年 2 月 14 日（土） 13:00～17:00

場所：福島県田村市 常葉公民館 大ホール

※両会場とも駐車場あり。

※カリキュラム内容は同じになりますので、ご都合のよろしい回にご応募ください。

6 応募方法

①インターネット

次の申込みフォームのページにアクセスし、必要事項を記入の上、ご応募ください。

http://www.ringyou.or.jp/hukyu/detail_1260.html

→「全林協」で検索して頂き、サイトにアクセスして頂くと、TOP ページの

「新着情報」から上記ページへのリンクがあります。

②インターネットによる応募が難しい場合には、下記事項を記入の上、Fax にてご応募ください。

FAX : 03-3583-8465

名前、ふりがな、所属機関・会社名等、所属部署、役職、主な業務内容
電話番号、職場のメールアドレス、当日の連絡先（携帯）、性別、年齢

※応募者の個人情報、本講習会以外の目的では使用いたしません。

7 応募期間

平成 26 年 11 月 28 日（金）～12 月 15 日（月） 17:00（必着）

※募集定員の上限を超えた場合、締め切り日前後に、事務局において調整のご相談をさせて頂く場合があります。

8 応募結果のご連絡

事務局より、12 月 17 日（水）迄に、メールもしくは電話・FAX により、ご応募頂いた方全員に直接ご連絡いたします。

【お問い合わせ先（事務局）】

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-13 三会堂ビル

一般社団法人 全国林業改良普及協会 編集制作部

電話：03-3583-8464 FAX：03-3583-8465

担当者：寺田、三石（みついし）

普及啓発講習会

「ここまで分かってきた、森林と放射能の関係—総合的理解のために」 カリキュラム

平成26年11月18日現在

講習会① 日時：平成27年1月24日（土） 13:00～17:00

場所：福島県南相馬市 市民文化会館「ゆめはっと」 多目的ホール

講習会② 日時：平成27年2月14日（土） 13:00～17:00

場所：福島県田村市 常葉公民館 大ホール

※PM（プロセスマネージャー）：(株)フォレスト・ミッション 藤野正也氏

	12	13	14	15	16	17				
	12:15～	13:00 10分	13:10～14:00 講義35分+質疑応答15分程度	14:05～15:10 講義40分+質疑応答25分	10分	15:20～16:25 講義40分+質疑応答25分	10分	16:35～16:55 10分+質疑10分	16:55 5分	
講習会 ①② ※カリキュラム内容は同じになります	(受付)	挨拶・主旨説明、 PM Eンテーション	放射能、放射線、被ばくの基礎知識	休憩	森林、木材、特用林産物への放射性物質の影響調査で解明されたこと、モニタリングの今後 ①	休憩	森林、木材、特用林産物への放射性物質の影響調査で解明されたこと、モニタリングの今後 ②	休憩	森林・林業再生に向けた実証事業	閉会 (全体まとめ)
		林野庁、 PM	(独)放射線医学総合研究所 吉田 聡氏		(独)森林総合研究所 ★講師未定★		(独)森林総合研究所 ★講師未定★		林野庁	P M

1章 福島県の森林・林業
■森林資源の現況
■林業・木材産業のあらまし
■森林所有者、林業従事者の姿
■大震災と原発事故による森林・林業への影響
2章 放射能の基礎知識
■放射能・放射線・放射性物質
■放射線や放射線の単位
■放射線計測の種類・方法
■放射能の人体への影響
■放射線の半減期
■内部被ばくと外部被ばく
■天然の放射性物質による被ばく
3章 森林の放射能
■福島県の森林広域調査① 空間線量率の分布状況
■福島県の森林広域調査② 空間線量率の減衰
■福島県の森林広域調査③ 空間線量率の分布予測
■福島県の森林広域調査④ 木材・葉・樹皮に含まれる放射性セシウム濃度
■森林内の放射性物質の分布① 空間線量率の変化
■森林内の放射性物質の分布② スギ林内の部位別の放射性セシウム濃度
■森林内の放射性物質の分布③ 樹種別の放射性セシウム濃度
■森林内の放射性物質の分布④ 森林全体の放射性セシウム蓄積量と分布の変化
■森林内の放射性物質の分布(まとめ)森林の放射性物質の動態変化
■森林の渓流水中の放射性セシウム
■スギ花粉中の放射性物質
■林床のササの放射性セシウム濃度
■野生きのこの放射性セシウム濃度
■森林動物の放射性セシウム濃度
4章 木材の放射能
■木材(丸太)中の放射性物質
■木材製品への放射能汚染の影響
5章 森林・林業再生に向けて
■落葉等除去や伐採による線量低減効果
■森林整備による空間線量率低減効果
■皆伐による放射性セシウム等の移動
■間伐等による放射性セシウム等の移動
■吸着剤を活用した濁水防止工による放射性物質拡散抑制効果
■林床被覆による放射線の遮蔽効果

■放射性物質を含む丸太の土場での影響
■作業者の被ばく低減と作業の効率化1－高性能林業機械の活用
■作業者の被ばく低減と作業の効率化2－皆伐作業システムの選択
■バキューム装置による地表の放射性物質含有量の低減効果
■ぼう芽更新新木に含まれる放射性物質の把握
■安全なきのこ生産に向けて 放射性物質低減のための原木きのこ栽培管理に関するガイドライン
■プルシアンブルーを用いた栽培きのこの放射性セシウム低減技術
■山菜・野生きのこ・栽培きのこの出荷制限区域
■森林での作業と放射線量の基準
■薪・木済み・木質ペレットの放射性セシウム濃度
■森林の除染の進め方
■森林・林業の再生に向けて－ふくしま森林再生事業
■森林・林業の再生に向けて－避難指示解除準備区域等における実証事業